NEWS PAPER

熊ラボ記事

vol. 6

2026年11月11日発行

もしも熊を見かけたら

落ち着いて距離を取ろう

山で熊を見かけたとき、驚いて走り出したり、写真を撮ろうと近づいたりする行動は危険です。出会う前の予防と、出会ってからの対応を区別して覚えておきましょう。今回は、熊を見かけた場面で、刺激を避けながら距離を取るための基本を紹介します。攻撃を受けた際の対処とは異なります。





撮影のために近づかない

遠くに熊を見つけても、観察や撮影のために近づかないでください。熊がこちらに気づいていない場合は、静かにその場を離れましょう。姿が見えなくなっても、後を追わないことが大切です。

大声や急な動きを避ける

出会う前に人の存在を知らせる行動と、熊を見つけた後の対応は異なります。目の前の熊に大声を出したり、石や荷物を投げたりして刺激しないでください。慌てず落ち着いて行動します。

背を向けて走らない

走って逃げると、熊が追いかけてくることがあります。近くで出会ったら、熊の様子を見ながら、背を向けずにゆっくり後退しましょう。足元にも注意して距離を取ります。

子熊にも絶対に近づかない

子熊だけが見えていても、近くに母熊がいる可能性があります。小さいから大丈夫と考えず、触れたり、撮影のために近づいたりしないでください。母熊を探そうとせず、静かにその場を離れましょう。

安全な場所から情報を伝える

熊がいる方向へ無理に進まず、安全を優先して工程を見直しましょう。安全な場所に移動したら、目撃した場所や時刻、熊の様子を管理施設や自治体などに伝えます。報告のために現場へ戻る必要はありません。



熊を見かけたら、
近づかず、走らず
刺激せず距離を取る！

